

「日本の次世代リーダー養成塾」の概要

「日本次世代リーダー養成塾」は、地方自治体や経済界などが中心となり、高校生を対象に世界的な視野で行動できるリーダーの育成を目指した2週間のサマースクールです。

塾開催中は、国内外で活躍する一流の講師陣による知的好奇心を湧かせる講義をはじめ、ビジネスの最前線や国際社会の現状など実体験に基づいた講義、塾生同士の活発なディスカッションなどが行われます。塾生たちは、自己表現力やコミュニケーション能力の向上、そして学問の楽しさを学び、将来の夢や目標に向かって挑戦する心を養います。

・第15回「日本の次世代リーダー養成塾」の概要

開催期日 平成30年7月26日（木）～8月8日（水）

開催場所 グローバルアリーナ（福岡県宗像市）

波戸岬少年自然の家（佐賀県唐津市）

※自然の家は7月28日（土）～7月31日（火）の3泊4日で宿泊

参加者 186名（うち岐阜県推薦枠10名）

内 訳	参画県推薦枠 (岐阜県、北海道、青森県、岩手県、静岡県、和歌山県、愛媛県、 福岡県、佐賀県、福岡県宗像市、沖縄県うるま市)	113名
	全国からの一般公募枠	62名
	アジア奨学生	11名 [非公募]

参加費 12万5千円

・岐阜県との関わり

岐阜県知事が「日本の次世代リーダー養成塾」の理事に就任。

岐阜県は本事業に負担金を拠出しており、推薦枠が付与される。

塾長 中西宏明 一般社団法人日本経済団体連合会会長

塾長代理 榑原英資 青山学院大学教授

筆頭理事 小川洋 福岡県知事

理事 参画県の知事(岐阜、北海道、青森、岩手、静岡、和歌山、愛媛、福岡、佐賀)
各経済界の代表等

・カリキュラム概要

① 各界を代表する講師陣による講義

・教養系（哲学、近現代経済・文明史、医学、科学、芸術など）

日本や世界を代表する講師が高校生に知的好奇心を湧かせる講義をしました。

- ・ ビジネス系（日本企業の強みと弱み、ビジネスのしくみなど）

世界を相手にビジネスの最先端で日夜活躍する講師が、日本の企業の強みや弱み、ひいては日本の国のあり方を伝えました。

- ・ 国際系（国際問題や外交、国連やNGO活動への理解）

世界に目を向け、日本人としてのアイデンティティを持ち、国際舞台で活躍できる力をつけます。

- ・ 人間学（将来の夢をどう具現化するか、リーダーとしての生き方など）

人生の先達が21世紀の日本を背負って立つ人材に必要なことは何かを語りました。

② 講義後のディスカッション

講義終了後にクラス担任の指導のもと、1クラス約25名によるグループディスカッションを行います。クラス担任は、日本を代表する企業の中堅社員が務めました。

③ プロジェクト型企画「アジア・ハイスクール・サミット」

アジア諸国から11名の高校生を招待し、2週間を通して社会課題の解決に向けた議論を行い、具体案を提言する「アジア・ハイスクール・サミット」を開催しました。

④ フィールドトリップ

- ・ 福岡県では昨年世界遺産に登録された「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」、その中心となる宗像大社辺津宮（総社）を見学し、日本の歴史を学び、日本古来の文化を守り伝えることの重要性を学びました。
- ・ 佐賀県では佐賀県立名護屋城博物館にて当時の貴重な資料や遺産を見学し、日本列島と朝鮮半島間の歴史を学びました。
- ・ また明治維新150年事業である肥前さが幕末維新博覧会のメインパビリオンである幕末維新記念館にて幕末維新期の佐賀の偉業や偉人などを勉強しました。

・ 第15回岐阜県推薦枠スケジュール

4月5日（木）～	岐阜県推薦枠塾生募集
5月8日（火）	
5月15日（火）	第一次選考（書類選考）
5月27日（日）	第二次選考（面接選考）、岐阜県推薦枠塾生候補者の決定
6月4日（月）	岐阜県推薦枠塾生決定
7月8日（日）	事前オリエンテーション（大雨のため中止）
7月26日（木）～	第15回日本の次世代リーダー養成塾
8月8日（水）	
12月2日（日）	岐阜県推薦枠塾生報告会